

平成25年度児童学習航海が終了しました

所長 江川 久雄

「夢とロマン」を児童に抱かせた平成25年度の児童学習航海も平成26年2月20日の終航式、2月25日の集団風邪による延期航海の実施をもってすべて終了しました。

今年度は学習船「うみのこ」就航30周年の記念の年でもありました。8月には嘉田滋賀県知事様をはじめ多くの関係の方々にお集まりいただき記念式典・記念航海を実施しました。記念航海には滋賀県内外から2千名を超える乗船希望がありました。びわ湖フローティングスクールに対する興味・関心の高さが改めてうかがうことができました。

記念式典での挨拶の中で多くの方が「30年間大きな事故もなく事業がすすめられたこと」に対してお褒めの言葉をいただきました。「30年間無事故」と言葉に書くのは簡単ですが、1航海1航海において児童や先生方が目的意識や安全意識をしっかり持って乗船していただいた積み重ねではないかと思っています。



今年度の児童学習航海については、児童の参加者合計数は14,356名(98.5%)でした。昭和58年からの累計数は484,840名になりました。欠席者数は217名でした。また、体験航海へは69名が参加しました。

航海については9月から10月にかけて次々と台風が接近し3航海が延期され、今年に入ってからのインフルエンザの影響で1航海が航海日を延期しました。

天候について、今年度前半は降水量が大変少なく河川からの栄養成分(プランクトンの栄養等)が流れ込まないため琵琶湖の水質がきれいでした。その結果、南湖や湖岸では湖底まで太陽の光が届くようになり、湖底の水草がたくさん繁茂するようになりました。そのためカッター活動はオールに水草が引っかかって支障がでるよう

なってきました。

しかし、9月からは台風18号が来襲し琵琶湖の水位が-25cmから+75cmまで一気に1mも上昇し、たくさんの降水が河川から流入してきました。



(水没する長浜カッター会場)

そのことだけではないのですが、今度は風の影響にもより湖底に長く伸びた水草が途中で切れて、流れ藻となり琵琶湖上にたくさん浮かんだり港付近に集まったりしてきました。琵琶湖大橋港付近では「うみのこ」が出入港できない可能性も出てきたため、堅田漁港の皆さんをはじめ関係者機関の方々で水草を刈っていただきました。大変ありがとうございました。

そして、また、最近の気象の特徴なのでしょうか、季節に関係なく強い風が吹くことが多くなり寄港地や停泊地の変更をしなければならなかった航海がたくさんありました。

最後に、最近学校から次年度航海日に関する問い合わせがあります。次年度の航海日に関しては前年度の6月~8月にかけて各港別の市町教育委員会と各学校の先生が集まって「どの日に・どの学校と乗船するのか」を決めていただいています。

その後、地教委から各学校の管理職への確認をしたのち当スクールに報告していただき、県の教育長の決済を受け、次年度航海日を決定するという一連の流れになっています。

もし「何らかの学校事情がある」とか「毎年同じ時期の乗船である」とかの学校の思いは、8月の地教委と学校との会合の中で説明していただかないと決定後に変わることはありません。よろしくご理解をお願いいたします。